

豪州 – 金融緩和姿勢は強化されず –

＜政策金利を1.50%で据え置き＞

6月6日、オーストラリア準備銀行（以下、RBA）は政策理事会を開催し、政策金利を1.50%で据え置くことを決定しました。

声明文では、オーストラリアの経済成長率が緩やかに拡大していくという見通しが示され、資源ブーム終焉による設備投資減少の最悪期がほぼ終わったことが指摘されました。他方、労働市場に関する指標は強弱まちまちで、賃金の伸びが低く、低インフレがしばらく続くという見通しが示されました。

＜豪ドルの推移＞

5月の豪ドルは軟調に推移しました。市場の予想を下回った国内外の経済指標、米政権の先行き不透明感やRBAが金融緩和姿勢を強めるとの見方が広がったことなどが背景です。

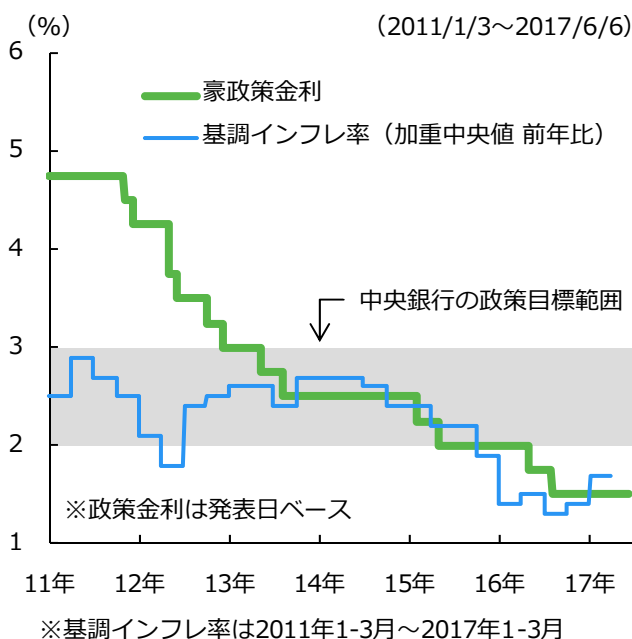
政策金利が据え置かれたことや声明文で金融緩和姿勢を強めることを示唆する文言が盛り込まれなかったことから、豪ドルは上昇しています。東京時間午後2時半現在、1豪ドル=0.7494米ドル、1豪ドル=82.26円となっています。

＜今後の見通し＞

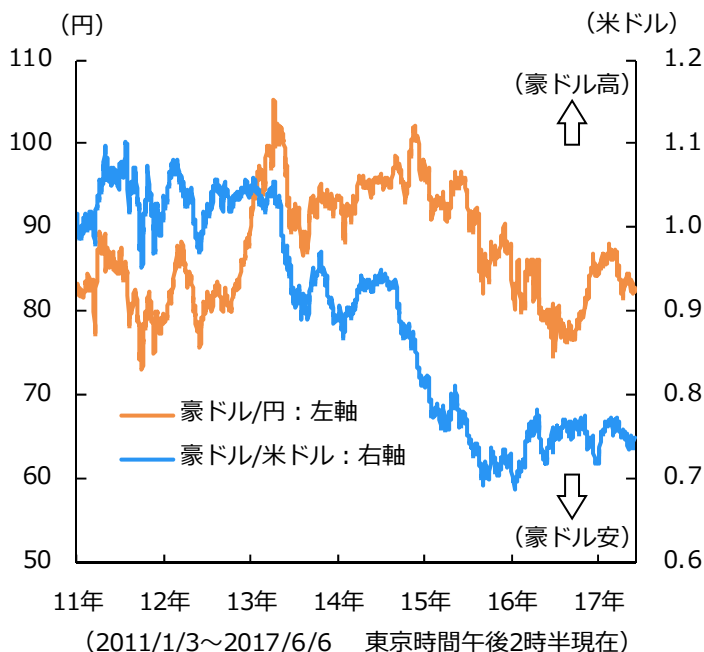
RBAの声明文に金融緩和姿勢を強化する文言が盛り込まれなかったため、しばらく政策金利は据え置かれるものと思われます。

また、7日に発表されるオーストラリアの1-3月GDPは下振れることが予想されていますが、低金利政策が景気を下支えし、中長期的にはオーストラリアの経済成長率は緩やかに上昇していくことが予想されます。オーストラリア経済の中長期的な拡大は豪ドルの支援材料となることが予想されます。

＜政策金利とインフレ率の推移＞



＜豪ドルの推移＞



出所：Bloomberg

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会